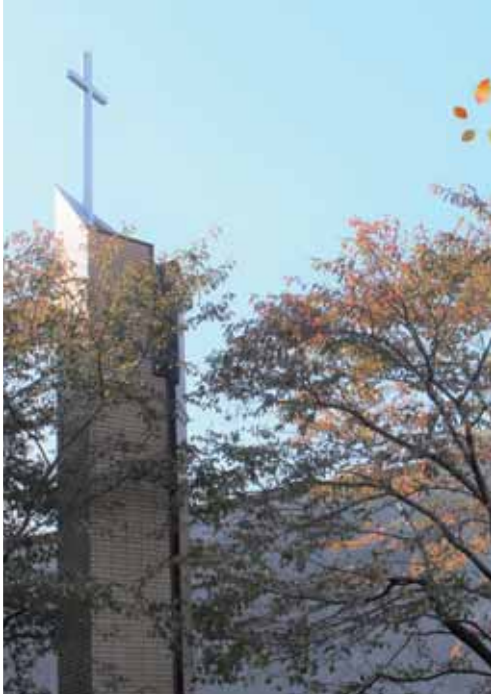




聖母ニュース



編集・発行
社会福祉法人聖母会聖母病院
〒161-8521
東京都新宿区中落合2-5-1
TEL03-3951-1111
<https://www.seibokai.or.jp>



◆ 理 念 ◆

愛をもって病める人を癒されたキリストにならい、国籍、信仰、貧富を問わず、心の通う医療を提供して病める人々の身体的、精神的、社会的、霊的ニーズをみます。

◆ 基 本 方 針 ◆

1. 生命を尊重し、最善の医療をおこないます。
2. 地域医療機関および福祉施設等と連携し、安心できる医療をおこないます。
3. 病院の理念に基づいて質の高い医療人を育成します。

◆ 患者様の権利と責務 ◆

患者様には次の権利が保障されています。

1. 平等かつ適切な医療を受けられます。
2. 人権が尊重されます。
3. 病気、治療について十分な説明が受けられます。
4. 医療内容を選択または拒否できます。
5. 個人情報やプライバシーが守られます。
6. セカンドオピニオンを求めることができます。

患者様へのお願い(責務)。

1. 適切な医療を受けるために、健康(病状)に関する情報を正しくお知らせください。
2. 医療行為に関して納得したうえで意思を明らかにし、指示に従ってください。
3. お互いによりよい治療と療養生活を送るために、定められた規則を守ってください。

聖書のことば

人よ、何が善いことか、主が何を求めておられるかは、お前に告げられたはずだ。
正義を行い、慈しみを愛すること、
へりくだって神とともに歩むこと、これである。

(ミカ書6章8節)

You have been told, O man, what is good,
and what the Lord requires of you:
Only to do right and to love goodness,
and to walk humbly with your God.

(Micah 6:8)

その病気 治らない?

皮膚科 部長 小林 里実

慢性疾患の方から、「この病気は治るのですか? 治らないのですか?」と訊かれることがあります。不正確なことはお伝え出来ませんので、10年以上前はどうかお答えするのが適切か悩み、少々長めのご説明をしていました。しかしこの10年、これまでの研究成果がかたちとなり、過去の概念を変えるような治療の躍進が続いています。皮膚科でも慢性疾患とされるアトピー性皮膚炎や乾癬[かんせん]の皮膚症状、乾癬の関節症状まで、ほぼ完全に抑えることが可能となってきました。指定難病である自己免疫性の水疱症や血管炎の一部でも同様です。

そして私は、初めのご質問にこうお答えするようになりました―「治し

ましょう。私は全力でサポートします」。症状をほぼ完全に抑えたと残るもの、それは生活習慣やストレスなど、疾患の引き金となっている要因です。これは患者さんご本人の状況や考え方によるところが大きく、患者さんが治療の主人公であり監督です。“治る”には、完全に無になるものと、完全な休戦(寛解[かんかい]と呼びます)があります。気にならない程度に症状を抑え込むのも“治る”の一つかもしれません。慢性疾患では、進歩した治療の助けを借りて、“治る”を勝ち取るのです。高額で治療を諦めざるを得ない方もいらっしゃる、企業の社会活動として治療モニターを募るなど、支えあう仕組みができると希望に繋がりますね。

170号の内容

その病気 治らない?	1	着任医師紹介	3
総合診療科通信 第1回	2	お知らせコーナー	3
眼科通信 第1回	2	外来診察表	4

家庭医療と総合診療

総合診療科 部長 南郷栄秀

総合診療はもともと、欧米の家庭医療 (Family medicine) の概念から派生したものです。19世紀のイギリスでは、GP (General Practitioner) と呼ばれる家庭医が、地域住民の健康を一貫して診療・管理していました。これが20世紀にアメリカに広がり、家庭医療やプライマリ・ケアとして浸透するようになりました。

日本にも古くから「町医者」としての総合診療医が存在し、地域住民の健康を守ってきましたが、西洋の家庭医療の影響を受け、独自の発展を遂げてきました。昭和30年代に「国民皆保険制度」が実現すると、総合診療の重要性は高まりましたが、その位置づけや教育体系が確立されるのはずっと後のことでした。

医学の進歩とともに医療が細分化される一方、超高齢社会を迎え、一人の患者さんが複数の疾患を抱えることが普通になりました。しかし、疾患ごとに異なる医師を受診するのでは、患者さんの負担が大きくなってしまいます。そこで、患者さんの問題に包括的に対応する、かかりつけ医が注目されるようになり、2018年に日本専門

医機構の総合診療専門医制度が始まりました。総合診療医が持つ幅広い知識と技術、患者中心の診療を行うプロフェッショナルとしての役割が明確化

され、総合診療の教育や臨床の質が向上したのです。

総合診療には、病院の総合診療と診療所の家庭医療の2つのタイプがあり、どちらも家庭医療学という学問を基盤としています。病院総合診療医には、院内で、患者さんの総合的なケアを担いつつ他の診療科や多職種との連携を図るとともに、院外の医療機関や地域との連携を円滑に進める役割が期待されています。

超高齢社会において、総合診療は今後ますます役割が大きくなることでしょう。当院でも、専門医療とのバランスを取りながら、患者さん一人ひとりの生活背景や価値観を尊重した診療を提供し、より質の高い医療を実現します。古くて新しい診療科である総合診療科をよろしくお願いいたします。



白内障

眼科 戸ヶ崎英理奈

最近、目がかすんだり、まぶしく感じたりすることはありませんか？ その症状、もしかすると「白内障」かもしれません。白内障を発症する確率は60代で70%、70代で90%、80代で100%と言われており、誰しもがなりうる目の病気です。

○白内障の原因

白内障とは水晶体と呼ばれるレンズが濁る疾患です。主は症状として視力低下やかすみ、まぶしさ、複視(だぶり)などがあります。原因は加齢によるものがほとんどで、加齢によりタンパク質が変化するため透明だった水晶体に濁りが生じてしまいます。またその他の要因として糖尿病、アトピー性皮膚炎、外傷、続発性(ぶどう膜炎などの他の疾患が原因でなるもの)などがあります。

○白内障の治療法について

初期には症状が軽く日常生活に支障がないことも多いため白内障の進行を予防する点眼などで経過をみるこ

がほとんどです。しかし、点眼療法には一度濁った水晶体を透明に戻す効果は無くあくまで進行を遅らせるための治療であり、根本治療は手術となります。

手術は点眼麻酔による局所麻酔で手術時間は30分程度、希望に応じて日帰りまたは入院で治療を行います。超音波の機械で濁った水晶体を砕いて取り出し、人工のレンズに入れ替えます。

医療技術の発達により安全に手術ができるようになってきていますが、治療時期が遅れ白内障が過度に進行すると手術の難易度が上がり手術時間が長くなってしまったり、合併症のリスクが高くなります。また、水晶体のにごりをずっと放置すると水晶体融解性ぶどう膜炎を発症し激しい痛みが生じて緊急手術が必要となることもあります。また眼底の透視性が悪くなるために他の眼底疾患の発見の遅れの原因にしまうこともあるので、手術は先延ばしにしすぎず適切な時期に受けるようにしましょう。

適切な時期に治療を行うことで視力の改善が認められることが多いので、定期的に経過観察することで適切な時期に治療を受けることが重要です。

着任医師紹介

① 出身地 ② 卒業大学、卒業年度 ③ 専門 ④ 聖母病院の印象 ⑤ 今後の抱負 ⑥ 患者さんへ一言

とがさき えりな
戸ヶ崎 英理奈
医師

- ① 愛知県
- ② 帝京大学 2015年度卒
- ③ 一般眼科、白内障
- ④ 歴史があり長きにわたり地域医療に貢献している病院という印象です。
- ⑤ 大学病院で培った経験を活かして、地域の患者様に寄り添った医療を提供できるよう努めてまいります。
- ⑥ 地域に根差した聖母病院で患者さまに寄り添った医療を提供できるよう努めてまいります。いつでもお気軽にご相談いただければ幸いです。よろしくお願い申し上げます。

いわまる よしこ
岩丸 良子
医師

- ① 群馬県
- ② 山形大学 2008年度卒
- ③ 小児一般、新生児診療、小児保健、精神発達、未熟児フォローアップ
- ④ 地域に根差した医療を提供している、あたたかみのある病院であると感じております。
- ⑤ 「疾病」だけではなく、子育て支援や虐待予防に力をいれていきたいと思っています。
- ⑥ お子さんご家族が健やかに、笑顔で過ごすことができるよう、診療を通してお手伝いします。子どもの成長や発達について気になることがあれば気軽にお声がけください。

かねこ あやか
兼子 絢華
医師

- ① 東京都八王子市
- ② 高知大学 2016年度卒
- ③ 産婦人科
- ④ 地域に根ざした温かみのある病院という印象を受けました。
- ⑤ 新しい土地で、周産期医療を中心に産婦人科全般の知識を深め、より質の高い医療を提供できるよう日々研鑽を積んでまいります。
- ⑥ 来院される患者様一人一人に寄り添った、最適な医療を提供できるよう努めてまいります。診療上の不安や疑問等ありましたら、些細なことでもご相談ください。

やまもと だいき
山本 大貴
医師

- ① 東京都世田谷区
- ② 慶應義塾大学 2020年度卒
- ③ 産婦人科一般
- ④ 歴史的な建物もあり、全体的に温かい印象を受けました。
- ⑤ 常日頃、アンテナを張って多くのことを吸収していけるよう頑張っていきます。
- ⑥ 少しでも患者様の不安を和らげられる医師でありたいと思っています。お困りごとがあればなんでもご相談ください。

かつまた げんと
勝俣 元都
医師

- ① 神奈川県横浜市
- ② 北海道大学 2017年度卒
- ③ 総合診療、家庭医療学
- ④ 地域に根差して医療を提供している病院という印象があります。
- ⑤ 少しでも地域の皆様に貢献できるよう頑張りたいと思います。
- ⑥ 病気の治療だけでなく、皆様一人一人に最適なケアを提供できるよう尽力いたします。

しょうひろ きえ
正廣 紀衣
医師

- ① 広島県
- ② 関西医科大学 2017年度卒
- ③ 総合診療科、家庭医療学
- ④ 急性期医療や母子医療だけでなく、地域包括ケア病棟も備えており、赤ちゃんから高齢者まで幅広く、地域の皆さまに貢献できる病院と感じました。
- ⑤ 病院の理念に沿って、国籍・信仰・貧富を問わず、各々の患者さんのニーズに合わせた医療を提供したいと思います。
- ⑥ 診療科を問わず、全年齢層のすべての健康問題の相談に乗れるように研修を積んで参りました。些細なことでも、何でもお気軽にご相談下さい。親身に対応させていただきます。医療だけで解決できない場合は、介護職とも連携して、患者さまご家族をサポートさせていただきます。

お知らせコーナー

緩和ケアのご案内

緩和ケアとは...



- ・ 身体の痛みや倦怠感などの身体的症状の軽減
- ・ 落ち込み、悲しみなどの精神的な苦痛の軽減
- ・ 病気との向き合い方や今後の生活への悩みなど、診断されたときから行う患者さんやご家族の不安や苦痛を和らげるためのケアのことを言います。自分らしい生活を送るためのお手伝いをします。

緩和ケアチームは、以下の専門スタッフで構成されています。

緩和ケア内科医／精神科医／緩和ケア認定看護師／薬剤師／
管理栄養士／医療ソーシャルワーカー／
リハビリテーション科／歯科衛生士緩和ケアは、いつでも受けることができます。
緩和ケアチームの支援をご希望される場合は、主治医または看護師へ
お気軽にご相談ください。*診療報酬に基づいて算定させていただきます。
詳細を知りたい方は、1F窓口の事務職員にお尋ねください。聖母病院
緩和ケアチーム

●●● 認知症相談のご案内 ●●●

私も認知症ではないかしらとご心配されている方、認知症患者様ご自身のお悩みや、認知症患者様の介護に苦勞されている皆様のご相談に認知症看護認定看護師が対応いたします。
認知症を正しく知れば、解決策が必ず見えてきます。
一人で抱え込まないで一緒に考えていきましょう。【対象となる方】 当院に通院されている方およびそのご家族
*ご家族だけでもご利用いただけます。

【費用】 無料

【相談時間】 10:00～16:00 1回約45分(予約制)

【ご予約の方法】

平日 8:30～16:00 03-3951-1111(内742)

看護部 荒木までお電話ください。

勤務の都合上、対応できない日もございますがご了承ください。



外来診察表

◇お知らせ◇ 当院は原則予約制です。ご予約のない患者さまは、お待ちいただく時間が長くなる可能性あることをご承知ください。 (令和5年 10.1～)

			月	火	水	木	金	土 (第3週休診)
内 科	午前診療	①	濱松 永昌	松下 昌直	北濱真理子	宮本 大介	濱松 永昌	宮本 大介
		②	小野 真理	市瀬 裕一	岡野 真弓	岡野真弓/東海林英典	小野 真理	市瀬 裕一
		③	宮田 由紀	渡邊 成美	桃井 瑞生	安藤 稔/第5.休	佐々木順子	稲垣 裕介
		④	伊藤 直人	伊藤 直人	東海林英典	伊藤 直人		
		⑤	庫川 恵理	宮田 由紀	庫川 恵理	井上ゆか子	岡野 真弓	庫川 恵理
		⑥	藤井 大輔	八尾 厚史		藤井 大輔		
	午後診療	①	宮本 大介	北濱真理子	馬淵 敬祐	宮本 大介	大河内遼太郎	
		②	伊藤 直人	小野 真理	桃井 瑞生	安藤 稔/第5.休	第1.3.5 宮本大介	
		③	藤井 大輔	宮本 大介		宮田 由紀	交代制	
		④	交代制				第2.4 藤井大輔	
総合診療科 (院内標榜)	午前				南郷 栄秀		勝俣 元都	
	午後				勝俣 元都	南郷 栄秀	正廣 紀衣	
内 視 鏡	午 前		鈴木辰典(内科) 東海林英典(内科)	松延修一郎(外科) 濱松永昌(内科)	濱松永昌(内科)	濱松永昌(内科) 宮野省三(外科)	茅島敦人(内科) 東海林英典(内科)	井上幸紀(外科)
	午 後		井原聡三郎(内科) 東海林英典(内科)	濱松永昌(内科) 東海林英典(内科)	濱松永昌(内科)	濱松永昌(内科) 宮野省三(外科)	田中敏明(外科)	
外 科	午 前		井上 幸紀	井上 幸紀	松延修一郎	田中 敏明	井上 幸紀	田中 敏明
乳腺外科	午 前		加藤 昌弘		菊山みずほ	菊山みずほ	甲斐崎祥一	菊山みずほ
	午後		加藤 昌弘	神野浩光/岩瀬 哲			甲斐崎祥一	
泌尿器科	午 後		額賀 明里			額賀 明里		
整形外科	午前	①	小川 政明	橋本 健史	小川 政明	小川 政明	三箇島吉統	交代制
		②	小林 亜里	小林 亜里	土岐 尋江	小林 亜里		
		③	土岐 尋江			第1.3 村越 薫 第2.4.5 土岐尋江		
	午後			宮本英明 14:00～15:30 (予約のみ)				
産婦人科	午前	初 診	兼子 絢華	坂井 健良(8:45～)	内田 浩(9:00～)	山本 大貴	小野あすか(9:30～)	宮越 敬
		再 診	山内 潤	山内 潤	増澤 利秀	山内 潤	宮越 敬(10:30～)	増澤 利秀
			山内 美和	宮越 敬	山内 美和	山内 美和	戸田 里実	戸田 里実(～12:30) 兼子 絢華
	午後診療				胎児診断外来/宮越 敬 第1.3 大森 茂 (14:00～15:00)	腫瘍外来/片岡史夫		
小 児 科	① ② ③		江崎奈緒子	岩丸 良子	江崎奈緒子	大塚 素子	江崎奈緒子	大塚 素子
			前田 由美	前田 由美	新貝千賀子	前田 由美	高橋 美希	前田 由美
			山中 聡子	隔月1回 石田 悠(神経)		第1.3 松井順子(神経)		第1.5 松井順子
				大塚素子(予防接種)	前田由美(予防接種)	第2.4.5 岩丸良子	高橋美希(予防接種)	岩丸良子(予防接種)
	乳幼児健診			江崎奈緒子	山中 聡子	猪野雅孝(BCG)	大塚 素子	
	1か月健診		猪野 雅孝		猪野 雅孝	前田 由美		
			前田 由美		山中 聡子	大塚 素子		
	専門外来		江崎奈緒子		江崎奈緒子	高橋 美希		
			新生児フォローアップ/猪野雅孝 心臓/島田衣里子第2月検	アレルギー/前田由美 予防接種/大塚素子 夜尿症/大塚素子 予約/岩丸良子	アレルギー/前田由美 新生児フォローアップ/猪野雅孝 新生児フォローアップ/山中聡子	神経(月1回)/衛藤 薫	アレルギー/江崎奈緒子 予約/大塚素子 予約/岩丸良子 予防接種/高橋美希	
精 神 科			永富めぐみ	永富めぐみ	非 常 勤	永富めぐみ	永富めぐみ	永富めぐみ
耳 鼻 咽喉科	午 前		中川 秀樹	中川 秀樹	中川 秀樹	齋藤康一郎	中川 秀樹	中川 秀樹
	専門外来		大石 直樹		第2 斉藤秀行			交代制
眼 科	午 前		太根 ゆさ	戸ヶ崎英理奈	戸ヶ崎英理奈	戸ヶ崎英理奈	海田 千恵	第2.4 戸ヶ崎英理奈
	専門外来		不定期 戸ヶ崎英理奈		河井 明佳	落合 淳一	非 常 勤	非 常 勤
皮 膚 科	午前	1 診	松浦 功一	松浦 功一	小林 里実	平山愛里彩/松浦功一	第2.4 小林里実	松浦 功一
		2 診	平山愛里彩	平山愛里彩	矢作 美奈	西山有希子	第1.3.5 平山愛里彩	平山愛里彩
		予約外来	川上 理子	小林 里実	川上 理子	特殊治療/小林里実	西山有希子	第1:松田 薫 第2:竹石玲奈
	午後	専門外来	小児皮膚科・小児レーザー/ 川上理子	乾癬・掌跖膿疱症・小児レ ーザー/小林里実	小児皮膚科・小児レーザー/ 川上理子	手術/ 小林里実 平山愛里彩 松浦功一	乾癬・掌跖膿疱症/ 小林里実	
			掌跖膿疱症性骨関節炎/ 石原陽子	ピーリング/ 平山愛里彩 松浦功一	乾癬・掌跖膿疱症/ 小林里実		光線・学童/平山愛里彩	
			光線・学童/松浦功一		光線・学童/矢作美奈			

*休診日：日曜、祝祭日、第3土曜日、クリスマス（12月25日）、年末年始（12月30日～1月3日）

予約センターについて

代表電話からはお繋ぎする事ができません。

全科診療予約については、予約センターにて受付致します。下記時間内に直通電話にてご連絡をお願い致します。

予約受付時間	平 日	9:00～16:00
	土曜日	9:00～12:30(第3土曜日除く)
予約センター電話番号	03-6908-1717	

※産婦人科・乳腺外科以外の科は、当日予約は受け付けておりません。
※検査の予約変更・キャンセルについて、医療上のご質問がある場合は各科外来へご連絡ください。
※診療状況によりご希望の日程で予約が取れない場合がありますが、予めご了承ください。

編集後記

秋風が爽やかな季節となり、ようやく過ごしやすい気候になりましたね。

木々の葉も色づき始め、いよいよ秋本番。そろそろ秋を堪能したいところですが、秋の味覚の代表“さんま”の漁獲量は、今年も低い水準となっており、食卓に並ぶ機会が減ってしまっています…

一方、ぶどうの高級品種“シャインマスカット”は、生産量の増加による国内流通量の高まりもあり、価格が大幅に下がっているようです。気候変動をはじめ、様々な背景による“秋の味覚の異変”ですが、たくさん旬を味わいたいですね！ (T.O)